みんなで伝道所を励ましに行こう！
～小牧キャラバン伝道隊参加者募集～

中田明義兄：伝道委員会委員

伝道委員会では、小牧の伝道所を訪問し、礼拝やトラクト配布等の活動を共にし、伝道所の方々を励ますことを目的に、今年もキャラバン伝道隊を派遣します。下記の通りその参加者を募集します。奮ってご応募ください。

・と き　　2016年8月28日（日）
・ところ　　小牧ホープチャペル（不破師）～愛知県小牧市～
・内 容　　午前10時15分～礼拝、交わり、トラクト配布～午後3時30分
・申込締切り　8月7日（日）
・定 員　　申込先着5名程度
・申込方法　中田明義（武庫川教会）へFAX（06・6417・4983）かメール（n_akiyoshi@hotmail.com）で住所・氏名・TEL番号・所属教会を知らせてください。
※尚、教団から旅費の一部が援助されます。当日の集合時間・場所等は、後日連絡します。

告 知 板

伝道委員会では地域教会への励ましと交流の機会としてキャラバン伝道隊受け入れ教会を募集しております。奮ってご応募お待ちしております。

共にキャラバン伝道をしませんか？

＊編集後記＊
・伝道委員会では新たな試みとして個人伝道トレーニング講座を計画、奮ってご参加ください。
・毎年小牧ホープチャペルと共に汗と涙？を流しキャラバン伝道隊が活躍しております。一度参加をして体験は如何でしょうか。
・皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

発行：日本メノナイトブレザレン教団　伝道委員会
〒563-0038　大阪府池田市荘園２丁目1－12　TEL:072-762-5731
発行者：田畑雅紀（伝道委員長）　　編集者：河野和雄（広報担当）

2016年初夏号　日本メノナイトブレザレン教団　伝道委員会　第8号

MB伝道ニュース

開拓伝道のビジョンを語る【6】

鹿島　望師：教会学校委員会委員長

「開拓伝道」ということを考える時に、もしかしたら「今の教会の現状維持で精一杯！」、「MB 教団の現状を考えると今は時期じゃない」または「開拓伝道は宣教師に任せたほうがいい」というような意見を持った方も意外にも多いのではないでしょうか。そのため実際に我々が置かれている現状の中で開拓伝道の必要性、また現代に適した開拓伝道のスタイルなどについて互いに祈り合い、話し合う時を持つことは非常に大切なことであると思います。しかしながら、今回はそのようなことは脇に置いておいて、私自身が最近聖書の言葉から教えられている「教会」について自戒の念を込めて分かち合いたいと思います。

家族で豊田市のファミレスに行くと、東南アジア系の若い女性がアルバイトをしていました。一目見て東南アジアの方だとわかりました。しかし驚いたことにその方が話している日本語は完璧な日本語、日本人以上に上手な日本語を使っていたのです。また別の日にスマートフォンが壊れたので、某携帯電話のお店に行きました。そのお店には南米系の若い男性がスタッフとして働いていました。驚いたことに、その若いスタッフも完璧な日本語で私に対応してくださったのです。

豊田市だけに限らず、日本全体でも移民者の二世、三世が増えていることは間違いありません。一世はそれぞれの母国語の礼拝を行うことが出来ます。しかし二世、三世の方々は日本語での教育を受け、日本語の生活環境で育っています。彼らの内側にある文化は日本の文化とは違う海外の文化かもしれませんが、日本語での救い、交わり、または礼拝を求めて教会に足を運ぶことになるでしょう。

中日新聞で「生活保護受給世帯の数が過去最多を更新」という見出しを見かけました。実際に日本の生活保護受給世帯は、基本的に右肩上がりの増加を続けています。ちなみに19歳以下の生活保護受給率（両親が生活保護受給者を含む）は大阪が全国で一番らしいです。最近では名古屋でも「子ども食堂」の取り組みが進められていますし、ある教会は実際に NPO を立ち上げて、貧しい子供たちに対して積極的な取り組み行っています。そのような格差を抱える中、世の中のプレッシャーに潰されそうになり、身動きの取れないような方が、救いを求めて藁をもつかむ思いで教会に足を運ぶことになるでしょう。

『さて、アンテオケには、そこにある教会に、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、国主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどという預言者や教師がいた。』　使徒の働き13章1節

アンテオケの教会には異なる人種やタイプの集まりがありました。バルナバは、キプロス出身のレビ族のユダヤ人、ニゲルと呼ばれるシメオンは黒人、クレネ人ルキオはアフリカ出身。マナエンはなんとヘロデ王の乳兄弟であり王室の人です。それから、サウロですが、彼はベニヤミン族のユダヤ人、パリサイ派の一員でした。もちろんアンテオケの教会の地理条件も背後にはあると思いますが、それにしても様々なタイプの人々が集まる不思議な集まりであったことには間違いありません。

開拓を行っていくことはクリスチャンにとって大切な使命です。だからあきらめずにチャレンジし続けな

ければなりません。しかし、皆が同じハンコで押されたようなタイプになり、同じ意見、同じ個性、同じ趣味を持つ人たちが集まる教会開拓、また「あなたは私たちとは違うからごめんなさいね」と言いつつ、自分たちとは違うタイプの人を排除する教会開拓は、今後悲しい結末を招くのではないかと私は個人的に思います。

これからはアンテオケ教会のように、違いのある者同士の共存を当たり前のこととして受け止めて、その違いを持った一人一人を神様が一つ（教会）にしてくださったことを心から喜び合える教会の開拓がさらに必要になってくるのではないでしょうか。

2016年度アクションチームの来日　!!

中島若樹師：伝道委員会副委員長
アクションチーム担当

今年も日本 MB 諸教会の伝道活動の助けとして、伝道委員会は北米 MB ミッションの協力によりアクションチームをお招きします。カナダから 17～24 才の男性 5 名女性 2 名の計 7 名の青年チームが 7 月 11 日～8 月 8 日まで来日します。メンバーを紹介します。

アダム・ストロング兄は 3 度目の来日で、チームリーダーの一人です。彼はウィニペグ大学で教育学を専攻し、空き時間にはカナダに来たばかりの学生に英語を教えています。旅行、書くこと、コーヒー、そして新しいことに挑戦するのが好きです。この夏の神様の恵みの働きを期待しています。マニトバ州ウィニペグ在住、24 才

アマンダ・ワルデ姉はカルガリー在住の看護専攻 3 年目で、もう一人のチームリーダーです。　農場で育った彼女は、高校卒業後にサチュカチュワン州のミラー聖書大学で 1 年学んだ後に、看護の学びを始めました。現在は准看護師を目指していて、自分と患者を励ます看護の仕事に感謝しています。この夏、神様が願われる自分の理解を増し、神様に仕えることに心開きたいと期待しています。アルバータ州ジェム出身、22 才

ベンジャミン・レケマン兄はウィニペグ大学で社会科学を専攻しています。彼はビジネスに関心があり、さらに学びを深めたいと願っています。教会の青年グループとの時間やカフェや活動することが好きです。子供たちと関わることが大好きで、昨年は教会で学齢期の子どもたちのためのボランティアをしました。この夏、神様が用意していることに期待しています。マニトバ州ウィニペグ在住、20 才

エマ・ウィリムズ姉はオンタリオ州南部で兄弟 7 人の家族に育ちました。MB 教会の聖アン・コミュニティ教会では子供向けのさまざまな働きとユースの賛美チームメンバーに 5 年間関わりました。2015 年の秋にマニトバ州のウィニペグのある美容師学校に通うために引っ越しし、今年 6 月に卒業します。現在はウィニペグのミーティングプレース教会に行っています。マニトバ州ウィニペグ在住、19 才

スコット・スタンフェル兄はオンタリオ州オタワ在住のカーレトン大学言語学専攻の 1 年生で日本語をマイナー専攻中です。昨年はカナダのメノナイト大学の南アフリカでの弟子訓練プログラムに参加しました。彼は日本に行きたいと強く願っており、約 1 年前から神様が日本での奉仕に召していると感じています。高校生の頃神様から少し離れがちになりましたが、感謝なことに昨年の良い経験を通して神様との関係が回復しました。さらに短期宣教の働きを通して神様との関係を築き神様に仕えたいと願っています。オンタリオ州オタワ在住、20 才

コープロサイ・ディスジャーディンズ兄は、ウィニペグ在住で多民族が集い彼の多くの良い友達がいるシティー教会に出席中です。彼は、ビルマで生まれタイで育ちました。現在は教師になるための学びをしており、いつか将来母国に帰り教えたいと希望しています。日本での奉仕を通して、神様との関係において成長したいと期待しています。ギターと子供たちと関わることが好きです。マニトバ州ウィニペグ在住、18 才

ケリース・ツング兄は 17 才で今年の夏に 18 才になります。ブリティッシュコロンビア州リッチモンドで生まれ育った彼は今年高校を卒業予定です。彼は競泳グループのコーチのアルバイトをしており、リッチモンド MB 中国人教会に出席中です。趣味はいろいろな楽器を弾いて音楽を学ぶことや新しいボードゲームを発掘し遊ぶことやスポーツです。ブリティッシュコロンビア州リッチモンド出身、18 才

個人伝道トレーニング講座参加者募集

日時：２０１６年９月２４日（土）～２５（日）
場所：ＭＢ尼崎キリスト教会
費用：５００円（土曜日昼食代：申込者の方のみ）　席上献金あり
主催：ＭＢ伝道委員会
協力：キャンパス・クルセード・フォー・クライスト(CCC)大阪 SI

「友だちに福音を伝えたい！」「家族に伝道したい！」「職場で証しをしたい！」

でも、どうやって伝道したらいいのか、わからない。
そんなあなたに、CCC が行っている「Leadership Training Class(LTC)」の内容を紹介していただきます。講義だけでなく、実地の場で、伝道にトライする機会も設けています。
どなたでも是非ご参加ください。

☆彡　**後日配布いたします申込書にご記入の上申し込みをお願い致します。**☆彡